

NPOから提案を募集したいテーマ

テーマ	新たな産消連携モデルの実践について
課題と内容	<p>三重県では地産地消運動を進めており、地域で生産された農林水産物や農林水産業に由来するサービスを地域で消費、享受することを通じて、地域産物の消費にとどまらず、地域のあり方やライフスタイルを見つめ直し、豊かな暮らしをおくることを目指しています。</p> <p>農業・農村には食料を生産することだけでなく、自然環境の保全や災害防止など多岐にわたる機能（多面的機能）があります。しかし、その価値に気づいている人は生産者も含め少数であるといえます。</p> <p>そこで、農業・農村が発揮する多面的機能を生産者と非生産者の双方が理解し合い、より高度な多面的機能の発揮に向けた生産活動の実施とそれを支える地域住民等の行動（新たな産消連携モデルの実践）により、農業・農村の価値の向上を目指します。</p>
NPOに期待する役割	<p>農業農村を舞台として、「水質や景観などの環境保全」、「自然観察や野生生物の保護」、「食文化の掘り起こしや地域学などの地域興し」などの活動を非生産者と生産者との協働で行っている。もしくはこれから行おうとするNPOを募集します。</p> <p>また、実践して頂いた内容を新たな産消連携のモデル事例として報告頂きます。</p>
県の事業の位置づけ	<p>●重点プログラム元気6 地産地消定着による地域産業活性化プログラム 「（2）地域が支持する農林水産経営育成事業」</p> <p>●施策体系 2 2 2 戦略的なマーケティングプロジェクトの展開 2 2 2 0 1 地産地消の推進 2 2 1 安全で安心な農林水産物の安定的な供給 2 2 1 0 4 水産物の安定供給</p>
テーマの該当する番号	<p>①今年度実施する事業で、NPOからの企画提案を募集しようと考えているもの ②今年度は事業化できなくても、NPOと対話により課題を共有し、次年度以降に事業化を検討するもの</p>
担当室	農水商工部担い手室
担当者	小林 泰子、湊 裕史
連絡先	<p>tel : 0 5 9 - 2 2 4 - 2 3 5 4 fax : 0 5 9 - 2 2 3 - 1 1 2 0 Mail : ninaite@pref.mie.jp</p>